

第 4 回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議 議事録

【要 旨】

開催日時 平成 28 年 6 月 24 日（金） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分

開催場所 小樽市保健所 3 階講堂

出席状況 ○委員

鹿角会長（小樽青年会議所）、柴田副会長（小樽市食品衛生協会）、小笠原副会長（中小企業同友会）、近藤委員（小樽医師会）、永森委員（小樽理容組合）、釜野委員（小樽市高齢者懇談会「杜のつどい」）、嶋田委員（小樽食生活改善協議会）、津崎委員（コープくらしの助け合いの会）、多田委員（おたるストックウォーキングの会）、福丸委員（小樽友の会）

以上 10 名

○小樽市

保健所 中村主幹、山谷主幹、宇田川主幹、健康増進課 柴田課長
木村主査、菊地主査、須摩主査、山本主査、鎌田主査、藤川主査
医療保険部 国保年金課 勝山課長

以上 12 名

○欠席委員

渋谷委員（小樽市歯科医師会）、佐藤委員（小樽薬剤師会）、武藤委員（商店街振興組合連合会）、林委員（小樽私立幼稚園連合会）、新川委員（小樽総連合町会）、近藤委員（小樽美容協会）、佐藤委員（小樽市民間保育協議会）、西岡委員（小樽健康づくりウォーキングサポーターの会）、須田委員（坂の街出版企画）

会議要旨

1 開会

市広報広聴課より広報おたる 8 月号に掲載する写真撮影のため職員が入ります。

新年度に入り、事務局、市関係部局課長の異動に伴い、改めて自己紹介を行いました。

- (1) 委員紹介
- (2) 事務局紹介
- (3) 本日の資料確認

2 報告

- (1) 平成 27 年度第 2 次健康おたる 21 実施報告

会長：会議次第に沿って事務局から報告をお願いします。

事務局：第 2 次健康おたる 21 関連事業経過シート（資料 1）に沿って説明します。

（資料 1 に沿って、施策 No.1 から 18 まで、それぞれ担当職員から説明）

会長：それでは、ただ今の事務局からの報告について、何かありますか？

委員 1：全ての施策を均等に報告するのではなく、優先順位をつけて報告してほしい。

かえって印象に残らないので、重点項目を絞って報告することも大事では？

伝わらなかったら意味がないので、メインとサブに分けるとか、思い切って何かを棄てて詳しくはホームページを御覧ください。とするなどで、メリハリを付けた方が良いと思う。表現の仕方も長文を避け、体言止めを使いすぎると固い印象になるので、気をつけた方がよいですね。書体も変えたり、色を着けたりすることも考えてみては？
体験談なども掲載すると興味を引きやすいと思います。皆さんの足音が聞こえるような見せ方を工夫してほしいと思います。

委員2：この事業シートをホームページに掲載するとのことですが、どのくらいの閲覧件数があるのかを調べ分析することで、打開策も見えてくるのでは？

事務局：資料1については、計画策定時から各施策に対応する形で、経年的に実績評価を残してきているものですので、これはそのまま残し、重点項目等をトピックス的に市民の皆さまにわかりやすいような形でお伝えしていくように検討させていただきたいと思います。

会長：データはデータとして、ほかの団体等で必要な場合もあるでしょうから、それとは別に一般市民がわかりやすいようにしていただければと思います。

3 議事

会長：それでは、次に本日の議事に移ります。

(1) 委員名刺の進捗状況について

会長：皆さまの名刺配布状況や配布したときの相手の反応など。また、名刺配布時の疑問点、御意見等いただければと思います。順番に伺います。

委員1：職員には配りました。外部にはまだ、お配りしていませんが、会の事業がこれから入ってくるので、順次配布したいと思います。

委員2：まず、身内から配りました。店にいらっしゃる仲の良いお客様にも「ホームページも見てね。」と言って配っていますが、「え？なに？」という反応で、自分自身、試行錯誤しながら配っています。

委員3：私もほとんどは会員さんに配っています。裏をみていただいたりしながら、健康を維持するためには健診を受けることが大事ですとお伝えしました。健診の受診期間などが決まっている方が受けやすいのかも。という声もありました。

委員4：今までに37枚ほど配りました。一番最初に会員の例会がありましたので、そこでネットワーク会議の話をし、皆さんの状況を聞いてみました。現在は、女性が多いもので会員が個々に健診を受けており、毎年受けている会員もけっこういます。かかりつけ医で健診を受ける方も多いようです。仲の良いお友達にも声掛けしていますが、私たちの年齢は、まわりががんになっている方も多いため、意識して受けるようにしているようです。また、いろいろな健診を受けたいのだけれど、受けるたびにお金が掛かるので、市にはそこをなんとかしていただきたいという声も聞かれます。

委員5：名刺配布の進捗状況は、皆さまと同じですが、事業がこれからどんどん入ってきますので、引き続きお配りして、健康づくりを進めたいと思います。

委員6：対外的にはまだ配っていませんが、サークルの仲間に30枚くらい配りました。ただ、健康に関心の高い方が多いサークルなので、それなりに健診も受けているようです。サークルには高齢者も多く、半数くらいの仲間は毎回活動に参加しているわけではないのです

が、今までに50名くらいの方に説明させていただいたところ、「いやあ、そんなこともやっているの？」と驚かれたりしているところです。

委員7：名刺ですから小さくて、うちの会員には裏面に書かれたクイズも見えないですね。名前を入れていない名刺なもので、配っても「これ、なあに？」というところから、自分自身がうまく説明しきれないように思います。

委員8：まず、自分の普段使っている名刺と一緒に配っています。渡し方を工夫しています。

まず、「名刺がピンク色なんです。保健所がピンク色なんです。」とお伝えする。

渡し方でかなり興味を持ってもらえるものです。そして、「角が丸い名刺なんです。」と、名刺をよく見ていただき、このピンクは健康な肺の色なんですと。滞空時間を長くして、興味を持っていただけたところから入ることが大事。ちょっと斜めに筆記体の英語が入っている保健所の名刺なんて見たこと無いでしょうかと、普通の名刺とは違うというところを自慢するところから、入りやすいのではないのでしょうか？

委員9：仕事等で初めてお顔を合わす方には、配りづらいですね。会のほうでは、ほとんどが経営者の方々なので、既に名刺交換していることもあり、委員名刺を配っていますが、経営者の方は、ほとんどが会社で健診を受けている方々が多く健康意識も高いですね。

配ったなかで、ネットワーク会議の中でもしかしたら、ここが落ちているのでは？と思ったのが、専業主婦の方。もう何年も受けていないという方もいました。名刺はまだ半分以上残っています。

会長：私も半分くらい配りました。仕事相手に名刺と一緒に配ったり、会の仲間に配っています。会員の年代は40歳までなのですが、ヘビースモーカーも多く、この年齢でなかなか「がん検診」を受けてみようとか、「禁煙」をしてみようかと思ってももらえないところが難しいところですが、楽しい会話の中で、伝えていければと思っていますところ。

それでは、ほかに何かありませんか？

委員1：資料2の「おや、まあ、へえ～！をひきだそう」のリーフレットについてですが、裏面の「おたる健康ナビゲーターのやくわり」とありますが、どこの部分はその役割に当たりますか？

事務局：下半分に文章で書いてある部分が役割に当たるかと思います。

委員1：これは一般の人に配るものですか？

事務局：いいえ。これは、委員が名刺を配る際の参考資料とするために作成したものです。

会長：この虎の巻については、フロー図の真ん中の丸い部分が、役割を要約したものだと思いますね。行政との情報交換や協働事業により、地域に健康づくりを広げます。というところでしょう。ほかになければ、皆さん、ほかの委員の方々のお話しも参考にさせていただき、今後も引き続き、名刺をお配りいただければと思います。それでは、次の議題に移ります。

事務局から説明をお願いします。

(2) 今後の会議スケジュールについて

事務局：資料3の今後の会議スケジュールを御覧ください。今年度については、当初3回開催予定でしたが、10月の会議はいったんお休みとして、次回は来年の2月に開催したいと考えています。今後のネットワーク会議の皆さんの役割としては、現在実施している健康増進計画中間評価アンケート調査の結果がまとまりましたら、平成30年度以降の後期計画に向けた健康課題に対

する計画立案を皆さんと一緒に行っていきたくと考えています。

前半に御報告した事業経過シートのそれぞれに施策については、平成23年度に実施した市民健康意識調査を実施し、そこから導きだした健康課題を整理し、第2次健康増進計画を策定した際に課題の解決に向けてそれぞれ対応する取組内容を設定したものです。

皆さんには、健康増進計画本体の30ページから書かれている健康課題を今一度読み返していただき、小樽の健康課題が見えてくる中間評価アンケート調査の結果がまとまる来年2月の会議までの間にそれぞれの団体で進められそうなこと、取組めそうなことを考えていただいたり、皆さんが名刺を配っていただくことで、周りの方々から健康に関する思いなどが引き出されている印象を持ちましたので、引き続き疑問点・御意見等あれば事務局までお寄せください。

委員の皆さんと一緒に健康づくりを推進していきたくと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

委員1：情報発信のあり方というものを全体を通して研究、検討された方がいいのかなと思いました。

もし、来年の2月まで余裕があれば、やっていらっしゃることは素晴らしいのですが、それがうまく伝わっていないように感じていますので、すべての目標値に近づくためにも、情報発信のあり方について、別立てで考えた方がいいのではないかと思います。

委員2：後期計画の内容によっては、名刺の中身も変える必要があるかもしれませんね。

会長：名刺については、来年度、作るかどうかも含めて今後検討ということですね。

ほかに何かありますか。

委員3：広報にも名刺の画像を載せてくれたらいいですね。

広報広聴課：特集号には載りますが、カラー印刷ではないもので、ピンク色は難しいですね。

会長：ほかになければ、これで議事の部を終了させていただきます。

御協力、ありがとうございました。

4 その他

事務局：皆様に4点ほどお知らせがあります。

- (1) 広報おたる8月号に小樽市健康づくりネットワーク会議のことが掲載されます。
何人かの委員にも記事を書いていただきましたので、是非、御覧ください。
- (2) 8月1日(月)FMおたる「月曜おめしゅき！」のコーナーに午前11時頃から鹿角会長が出演されて、本会議のPRをさせていただきます。こちら、是非、お聴きください。
- (3) タウンノルディックウォーキングのチラシをお配りしました。小樽健康づくりウォーキングサポーターの会が中心となって年に5回、雪の降らない時期に開催しています。主にノルディックウォーキングでポールを使ったウォーキングですが、ポールは貸し出ししていますので、各団体の皆様にもお知らせいただき、是非、御参加ください。
- (4) 感染症関連の情報提供をさせていただきます。小樽市新型インフルエンザ等対策行動計画を今年の2月に策定しました。本日は概要版と広報おたる6月号の特集の抜粋版をお配りしました。本計画は、未知の感染症が発生したときに備え、国や道の行動計画に沿って策定しました。計画の大きな目的は、①感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護すること②市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるようにすること、の2つです。広報の抜粋版右下に「市民の心得」（市行動計画より）がありますが、感染予防対策のほか、確かな情

報収集や食料品の備蓄などが必要になります。また、企業の皆様には市民の心得とともに、社員がり患した場合の事業の継続方法等の対策を立てておくことが求められています。計画の詳細は、保健所ホームページに掲載しております。

それでは、次回の会議は来年の2月に開催します。

5 閉会